

社会資本整備審議会道路分科会

第18回東北地方小委員会

【議事録】

○議 事

1) 計画段階評価

・津軽自動車道（柏～浮田）

○**浜岡委員長** それでは、議事に入りたいと思います。津軽自動車道（柏～浮田間）について、事務局より説明をお願いいたします。進め方としましては、まず前回の審議内容と第2回意見聴取の結果、対応方針案の検討について一通り説明をしていただきまして、その後、質疑応答を行うという流れで進めていきたいと思います。

それでは、説明をお願いいたします。

○**事務局** 「津軽自動車道（柏～浮田）計画段階評価第3回説明資料」に沿って説明させていただきます。資料1の2ページをごらんください。津軽自動車道でございますが、東北縦貫自動車道弘前線の浪岡インターチェンジから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域まで結ぶ、計画延長約38kmの高規格幹線道路となっております。位置は下図のとおりでございます。

3ページをごらんください。津軽自動車の約38kmのうち、浪岡五所川原道路、五所川原西バイパス、鱒ヶ沢道路の計約23kmが既に開通済みとなっております。下の図のように、残る柏～浮田間13kmが対象区間となっております。

続きまして4ページをごらんください。前回までの審議内容でございます。前回の主な議事としまして、①第1回意見聴取の結果を報告、②としまして対応方針の検討、③としまして第2回意見聴取方法についてご審議いただきました。前委員会までの主な意見とその対応状況につきましては、下の表のとおりでございます。1つ目から3つ目までにつきましては、いただいた意見をアンケートに反映させていただいたところでございます。4つ目でございますが、第2回意見聴取に当たりまして、「整備に関する費用」に「除雪等の維持管理費用」を加えた「ライフサイクルコスト」として意見聴取すべきであるとのご意見もいただきました。これにつきましては、各対策案のコストにおいては、整備に関する費用が大きな割合を占めており、比較の際に維持管理費用の差による影響は少ないことが確認されましたので、経済性については「整備に関する費用」として整理したところでご

ざいます。

続きまして、5ページをごらんください。計画段階評価の検討の流れでございます。平成25年8月29日に第1回の小委員会を開催いたしました。その後、意見聴取を行いまして、平成27年8月5日に第2回の小委員会を開催いたしました。その後、第2回の意見聴取を行いまして、本日、第3回の小委員会として、第2回の意見聴取結果の確認と対応方針案について審議していただくこととしております。

続きまして、2.「第2回意見聴取の結果」についてご説明いたします。7ページをごらんください。意見聴取は、アンケート調査及びヒアリング調査として、平成27年10月16日から約3週間、実施いたしました。アンケートにつきましては、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町の全戸配布、郵送で行いました。また、周辺市町村役場、道の駅等での留め置き、その他、ウェブ等で実施いたしまして、回答数は、右側でございますが、9,050部を回収いたしました。その他、企業ヒアリングとしまして66企業・団体を対象に実施したところでございます。

8ページをごらんください。意見聴取に関する広報の実施状況でございます。新聞広告として、青森県内にございます発行部数が多い地方紙2紙に、アンケートへの協力を呼びかける広告を掲載いたしました。また、青森河川国道事務所のホームページにアンケート調査のページを開設。その他、対象地域の市町が発行する広報誌に、掲載やチラシの挟み込み等も行いました。

続きまして9ページをごらんください。地域への情報提供としまして、防災無線を活用して、各家庭へ意見聴取の協力依頼についてアナウンスを実施しました。また、イベント等でのアンケートブースを設置したり、周辺市町村役場、道の駅等においてアンケート票の回収ボックスを設置いたしました。

10ページをごらんください。意見聴取の結果についてご説明いたします。総回答数は9,050票。多くは五所川原市、つがる市で、約4割ずつとなっております。年齢としましては、幅広い年代から意見を聴取できました。職業では会社員が約3割、性別では男性の方が7割と多くなってございます。

続きまして11ページをごらんください。国道101号の利用頻度についてでございますが、約6割が「毎日」「週に数回程度」利用と回答がございました。

続きまして12ページをごらんください。同じく国道101号の利用目的でございますが、回答者の約6割が家事・買い物、約4割が観光・レジャーと回答しております。次いで通勤・通学や業務等が多くなってございます。居住地別では、右の方のグラフをごらんいただければと思いますが、鱒ヶ沢町では家事・買い物、通勤・通学、通院の回答が他の地域に比べて非常に多いという結果が出てございます。

続きまして13ページをごらんください。つがる市の地区別で、柏・森田地区では通勤・通学の回答割合が多いという様になってございます。中央のグラフ、下のグラフ等をごらんいただければと思います。

14ページでございます。地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目としましては、「冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと」が約6割と多くなっております。次いで、「地域間を結ぶ目的地に早く行けること」「交通事故が少なく、安全に走行できること」等が4割以上となっております。一方で鱒ヶ沢町では、右下のグラフのように、「病院に早く行けること」いうのが4割以上となっているのが若干、特色でございました。

続きまして15ページをごらんください。つがる市の地区別に見ると、重視すべき項目では、各地区で概ね同様の傾向が見られました。

続きまして16ページをごらんください。国道101号の利用頻度の高い方々につきましては、「冬期の地吹雪や堆雪の影響を受けにくいこと」や、「地域間を結び、目的地に早く行けること」「交通事故が少なく、安全に通行できること」を重視されていることが分かりました。重視すべき項目の上位5項目については、利用頻度にかかわらず全体の7～8割を占めておまして、利用頻度に関係なく重視されていることが分かりました。

17ページをごらんください。問3での具体的な記述例としましては、冬期の地吹雪・堆雪等の影響回避にかかわる記述が最も多く、次いで地域間の速達性、安全に走行できること、救急病院への速達性等が続いております。15ページの問3と大体同様の傾向が見られました。

18ページをごらんください。その他の意見では、早期の整備要望や対策案への意見等整備方針に関するものですか、道路構造や利便性に関する意見が多く寄せられております。下の方をごらんいただければと思います。多くはございませんが、否定的な意見も一部ございました。下の2つ目のところをごらんいただければと思います。

続きまして19ページをごらんください。インターチェンジ等の連結位置に関する自由意見としましては、市街地や主要な道路等へのアクセス性の配慮や、安全性の確保や地吹雪等の影響を受けにくいこと等、構造に関する意見が多く寄せられたところでございます。

20ページをごらんください。これまでの質問以外の自由意見としましては、早期事業化を望む意見ですとか、道路構造・車線数に関するご意見、道路整備の必要性に関するご意見等が多数寄せられたところでございます。

21ページをごらんください。第2回意見聴取の結果に続いて、企業・団体ヒアリングについての結果でございます。企業・団体へのヒアリング結果から、重視すべき項目については具体的なご意見をいただいたところでございます。ルート検討時に重視すべき事項としては、冬期の地吹雪・堆雪による影響回避に関する意見が多く、次いで地域間の速達性、救急病院への速達性等を重視する意見が多く寄せられております。

左の表をごらんいただければと思います。4つ目のところがございますが、通行止めになったときでも代替交通路が確保できることといったものが高い比率で出てきておまして、従来の意見と若干の違いが出てきております。

22ページをごらんください。企業・団体ヒアリングにおいては、インターチェンジの

連絡位置を検討する上で配慮すべき事項の他、整備方針に代わのご意見をいただいたところでございます。結果については、概ね住民アンケートと同じ状況でございました。

続きまして23ページをごらんください。地域特有の道路課題と意見聴取結果についてでございます。意見聴取結果では、冬期の地吹雪や堆雪等による影響の回避を求める声が非常に多く寄せられました。本地域では、冬期は地吹雪等によって視程障害や、路肩への堆雪による大型車すれ違い困難な状況等が頻繁に発生しております。交通環境の悪化によりまして吹雪日の旅行速度は著しく低下し、冬期は通常期に比べ事故件数が増加しております。国道101号の課題でございます冬期の交通環境の改善が図られる道路整備が望まれているところでございます。

続きまして24ページ、青森県における周遊観光推進に向けた取り組みについてご説明いたします。青森県では、昨年の函館までの新幹線の開業や、青森港等への国際クルーズ船の寄港回数の増加等を背景にしまして、更なる観光振興を推進しているところでございます。今年2月には青森県から津軽半島地域の周遊観光ルートの機能強化に向けたビジョンを示されたところでございまして、その中で津軽自動車道は青森県の道路事業と一体となりまして、観光振興を通じた津軽半島地域の発展への貢献が期待されてございます。下の右図をごらんいただければと思いますが、津軽自動車道につきましては、周遊ネットワークの最重要路線として津軽横断軸に位置づけられているところでございます。

続きまして26ページをごらんいただきたいと思っております。ルート帯案の検討についてご説明いたします。当該地域の道路交通の現況や地域の課題等を踏まえ、政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定いたしました。対策案の検討方針としまして、まず地域・道路の状況と課題、地域の将来像や、住民や企業等への意見聴取結果から、右にございます5つの政策目標を掲げました。1つ目は医療施設への速達性の向上、2点目は冬期交通環境の改善、3点目は地域振興の支援、4点目は信頼性の高い道路ネットワークの確保、5点目が安全な走行空間の確保。この5つの目標を立てまして、これらを踏まえまして、右下にございます3つのルートを検討しました。赤の全線新設案、緑の新設プラス現道改良案、青の現道改良案でございます。なお、左にございますが、対策案を検討する上での配慮事項としまして、家屋等の生活環境や自然環境の保全、また、整備に要する費用に対して配慮することとしております。

続きまして、27ページをごらんください。政策目標を達成するための対策案について、主要なコントロールポイントに配慮し、設定している3案を図上に示したものでございます。赤の全線新設案は、赤い帯で示したルート帯の中で新設整備する案でございまして、五所川原西バイパスと鱒ヶ沢道路をサービス速度80kmの自動車専用道とする案となっております。続きまして緑の案でございまして、緑に示したルート帯の中で自動車専用道を整備し、残る区間については現道改良を進める案となっております。青の案でございまして、国道101号の2車線、または4車線にて改良する案としてございます。

続きまして28ページ、ルート帯案の検討についてでございます。①の全線新設案は、

②の新設プラス現道改良案や③の全線現道改良案に比べまして、すべての政策目標の達成が見込める他、意見聴取においてルート帯案を検討する際に重視すべきとの回答が多かった「冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと」「地域間を結び目的地に早く行けること」「救急病院に早く行けること」「通行止めになったときでも代替路を確保できること」について優れているといった評価となっております。

29ページをごらんください。対応方針（原案）の検討でございます。沿線市町住民への意見聴取、企業・団体等へのヒアリングの主な意見から、真ん中にございまするが、政策目標の達成見込み及びルート帯選定に当たって重視すべき項目について評価をいたしました。

結果としまして、ルート帯案とインターチェンジ位置の考え方としまして、冬期の地吹雪等の影響を受けにくく、拠点都市間の所要時間短縮や医療施設までの速達性向上が図られ、事故・災害に強い道路が確保される自動車専用道路による新設案とします。市街地へのアクセス性に配慮し、検討することとします。

30ページをごらんください。新たに盛り土主体の自動車専用道路で、国道101号の課題である地吹雪や堆雪等に対する冬期交通環境の改善、地域間の速達性の向上、代替路の確保を図り、市街地へのアクセス性に配慮したインター構造等を検討し、合理的な事故・災害に強い道路を確保する計画とします。ルート案については下記のとおりでございます。

自治体への意見照会結果につきましてご紹介いたします。32ページをごらんください。青森県へ意見照会しましたころ、意見としまして、一般国道101号（津軽自動車）青森県つがる市柏稲盛～木造越水間における対応方針（原案）について同意します、といただいているところでございます。

以上を踏まえまして、5.の「対応方針」のまとめについてご説明いたします。34ページをごらんいただきたいと思います。3案の対応方針としてまとめております内容につきましては、先ほどご説明した対応方針とほぼ同様となっておりますので部分的な説明となりますが、1.の左にございます「道路整備の必要性」として地域の課題5つの項目を政策目標として掲げております。それを実現できる道路整備について、必要な項目ごとに整理しております。また、住民アンケートや企業ヒアリングの結果も、主な意見として、右にございますように6つの項目にまとめております。2.の「対応方針」として、計画及びルート帯案の取りまとめ結果を掲載しております。その他については、具体の道路構造等の検討に際しての配慮事項として記載させていただいております。

35ページをごらんください。前ページと同様、説明は割愛させていただきますが、前ページの対応方針とともに、本ルート案について本委員会にお諮りさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○浜岡委員長 ありがとうございます。

ただいま、前回の審理内容と第2回意見聴取の結果、そして採用方針案の検討について、すべて説明いただきました。この説明につきまして、ご質問やご意見等ございましたら、

よろしく願いいたします。

○大江委員 対応案の全線新設案はトンネルではなくて地表の道路なわけですが、これをつくることによって地吹雪というものに関しては改善することがあるのかどうか、教えていただければと思います。

○事務局 30ページをごらんいただければと思いますが、左にございますように構造的に盛土形式にいたしまして、地表よりも高くさせていただいてございます。これにより、地表にある雪が舞い上がってくるのが防止できると考えております。

もう1点、現在、国道101号が東西に向いておりますが、それに対し風の方向は少し斜めになってきまして、向きを変えることによって正面から雪が来るというのを防止できる形になっております。

○大江委員 いつも風の方向というのは一定なのですか。

○事務局 現在の国道101号では、比較的多い風向になっておりまして、こちらの風向が多いときには、正面から雪が来るというのを防止でき地吹雪の改善が期待できるという様になっております。

○浜岡委員長 その他、いかがでしょうか。

それでは、私の方から。

資料の28ページをお願いいたします。3つの案を比較したものです。この28ページの内容をもとに、アンケートで何を重視するかということをお答えいただいたことなのですが、最終的に検討されているのが案1でして、確かに、住民の方々が思っている、冬期の地吹雪が大変というものに対して十分に対応できているのがよくわかります。一方で、一番下のコストを見ますと、一番、金額としては高いわけですが、そういう意味でいいますと、いいものをつくるから高くなるのは仕方ないというのは確かにそうかもしれないのですが、でも、高いということも1つの要素ではあって、それに関して、住民の方々の反応というのでしょうか、アンケートで得られた反応というのはいかがでしたか。

もし、それが非常に高いからよくないという意見が多いのであればもう少し検討しなければいけないでしょうし、逆に少ないのであれば、意見はあるかもしれないですけども、大方は高くてもいいから、いいものをつくりたいという意見になるかと思えますし、そのあたりについていかがでしょうか。

○事務局 18ページをごらんいただきたいと思います。第2回意見聴取の結果の住民ア

ンケートの内容でございます。先ほど少し触れていますが、下のところに否定的な意見ということで、人口減少し交通量も増えないので現道で十分ではないかとか、目的地に早く着けることはいいが、費用を考えると要らないのではないかといったご意見も幾つかいただいております。ただ、全体の中では否定的な意見が2%程度ということで、多くのご意見は早期整備という状況になっております。

○浜岡委員長 否定的意見もさまざまな視点であると思いますが、コストという意味で見ると2%よりも少ないと考えてよろしいのでしょうか。

○事務局 はい。現在の整備水準で満足する意見を含めての2%でございますが、費用だけですともう少し下がります。今回につきましては、当然、計画目標を達成するものもそうですし、整備費用も高くかかるという意味では、整備費用が安いことを重視する人がどれぐらいいるかということで、アンケート項目の「重視すべき項目」を設けさせていただいております。

14ページ左側には、一応、3つまで回答可という条件の中で、整備費用が安いことは9%というふうになってございますので、1割未満の方々がそういう部分も重視をしているという状況でございます。

○浜岡委員長 その他、いかがでしょうか。

○佐藤委員 先ほど整備費用の話はされましたけれども、この道路、実は観光面から申し上げますと、民間の方をはじめ多くの方が、新幹線の新青森駅から西側の鱒ヶ沢、深浦のために大変重要な道路となっております。道路を整備した効果を上げるためにも、一日も早い着手・開通が望まれるという様に私は考えております。なおかつ、最近、レンタカーで県内を回られる方も多いということを考えれば、こういう高規格道路というのは非常に重要な意味を持ちますので、その辺、安全・安心に走れる道路としても、整備をお願いしたいなと思っております。

○浜岡委員長 そういう意味でいうと、案1から3案の中で、安全であり、できるだけ早く整備ができるものというのが望ましいのではないかとご意見ではありますが、いかがでしょうか。

○事務局 24ページで、青森県からも周遊観光推進に関する取り組みということで、この東西軸というのは非常に重要な路線となっておりますので、こういったことについても十分配慮していきたいと考えております。具体的なルートや整備内容についてはこれからまた改めて検討させていただきたいと思っておりますので、先ほどのコスト縮減についても含め

て、なるべくコストを縮減できるように取り組んでまいりたいと考えております。

○浜岡委員長 その他、いかがでしょうか。

今回、第2回の調査を行いまして、7ページにその結果として、どれだけの回答があったかが示されています。新潟山形南部連絡道路の会議で示された回収率に比べてはるかに高い回収率でして、それは地元の方々の関心の高さということも表しているのではないかと思いますのですが、それ以上に、どういうところがうまく作用し、回収率の向上に寄与したとお考えでしょうか。

といいますのも、午前中の東北・北陸の合同委員会もそうでしたけれども、できるだけ多くの方々の意見をいただいて進めていくというのがやはり重要だと思います。仮にですが、回収率5%、2%という中で進めていくのは一部の人の意見だけではないかということで、それが正しいかどうかは検証しづらいので、できるだけ多くの方々にご意見いただきたいのです。

8ページ目のところにもさまざまなトライをされているとおり、アンケートを実施していることを周知されて、それで回収率を高めようとしているのは非常によくわかるのですが、どういう項目がうまくいきそうだとか、もしお分かりであれば教えていただければと思います。

○事務局 新潟山形南部連絡道路も同じように全戸配布はされておりますが、それ以外にも、今回こちらの方では、防災無線を活用した町民や市民へのアナウンスをしていただいたりですとか、また、地元のイベントに合わせて、情報収集やアンケート回収できるようなブースを設置していただいたりとか、市・町にも随分熱心にご協力いただいたというのが非常に効果的だったのではないかと考えています。

○浜岡委員長 つまり、地元の自治体の方とも協働していったということが大きいのではないかと。分かりました。

その他、いかがでしょうか。

○菊池委員 今日、第3回の委員会ということなので、これまでにちょっと議論されたのかもしれないのですが、教えていただきたいことがあります。

第1回の意見聴取のアンケートですから、恐らく前回、議論されている内容の中で、課題等で積雪・吹雪で冬期の走行性が悪いというのは一番重要な意見として挙がっているわけなのですが、参考資料5で第2回のアンケートのときに、ルート対案の②と③について、この「冬期交通環境の改善」のところ、やはり視界不良については②と③も両方ともそれほど見込めないという案を提示されているのですけれども、1回目のアンケートでそこが重要だと分かりながらも、このようにそれほど見込めない案を提示するという背景、理

由というのを、一度確認させてください。

○事務局 これをやる前にすべてが分かっているのであれば先生のおっしゃるとおりなのですが、我々としては一応、案としては、さまざまな案を提示させていただいた上で広くご意見を賜りたいということで提示させていただいております。前回までにある程度、見えていたのではないかとご指摘はそのとおりでございますが、我々としては丁寧にやっていきたいということから、このような形をとらせていただいております。

○浜岡委員長 案④⑤として、望ましいものが出てこなく、その結果、現道をそのまま活用するか一部活用するという形で出てきたところでしょうか。

その他、いかがでしょうか。さまざまな観点からご意見が出ておりますが、皆様方の意見を総合しますと、方針としては概ね妥当だということで進めていってよろしいのではないかと思いますので、皆様、いかがでしょうか。

どうもありがとうございます。

それでは、以上で計画段階評価につきまして審議を終わりたいと思うのですが、全体を通じて何かご意見等ございますでしょうか。

ご意見ないようでしたら、最後に本日の委員会の資料の公開・非公開について確認したいと思います。

ホームページ等にこの資料を公開するかどうかについて、公開するという進めていきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、本日の資料はすべて公開するということにしたいと思います。

また、議事録につきましても速やかに公表するということになっておりますが、事務局の方から何かございますでしょうか。

○事務局 議事概要につきましては、速やかに作成し、委員長に確認していただいた上で公表させていただきたいと思っております。

詳細な議事録につきましては、後日、委員の皆様にもメール等で送付させていただき、それぞれご確認いただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

○浜岡委員長 議事録につきましては、ただいまのご説明いただいた内容で対応することによってよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、議事概要につきましては、私が責任を持って確認させていただきたいと思っております。以上で本日の議事を終了いたします。議事進行を事務局の方にお戻しします。

○司会 浜岡委員長並びに委員の皆様方におかれましては、長時間にわたりご審議を賜りまして、まことにありがとうございました。

以上をもちまして、社会資本整備審議会道路分科会第18回東北地方小委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。